

考えてみませんか？終末期医療

愛媛県立図書館医療健康情報コーナー展示
令和3年7月31日（土）～9月29日（水）



近年、尊厳死が議論されている一方で、治療等については、患者の意思表示ができない時期に、医療者と家族の間で決定されることも多く、患者本人の希望しない治療が行われることも、少なくありません。また、昨年、安楽死を希望するALS患者に薬物を与えて死なせたとして、嘱託殺人の疑いで医師2人が逮捕されるという事件が起きました。今回は、終末期の医療に関する資料を集めました。

※掲載している資料は、この分野の所蔵資料の一部です。

No.	書名	著者名	出版者	出版年月	請求記号
1	いつか来る死	糸井 重里／著	マガジンハウス	2020.11	490.14-イシ-2020
2	生老病死そして生	國森 康弘／写真・文	農山漁村文化協会	2020.3	490.14-クヤ-2020
3	死を受け入れること	小堀 鷗一郎／著	祥伝社	2020.7	490.14-コオ-2020
4	エンド・オブ・ライフ	佐々 涼子／著	集英社インターナショナル	2020.2	490.14-サリ-2020
5	この国で死ぬということ	柴田 久美子／著	ミネルヴァ書房	2019.9	490.14-シク-2019
6	哀しみを得る	村中 李衣／著	かもがわ出版	2017.1	490.14-ムリ-2017
7	「在宅ホスピス」という仕組み	山崎 章郎／著	新潮社	2018.3	490.14-ヤフ-2018
8	死ぬ権利はあるか	有馬 斉／著	春風社	2019.2	490.15-アヒ-2019
9	家で生まれて家で死ぬ	矢島 床子／著	ミツイパブリッシング	2017.11	490.15-イエ-2017
10	医療倫理学のABC	服部 健司／編著	メヂカルフレンド社	2018.12	490.15-イリ-2018
11	家で死んでもいいんだよ	川上 嘉明／著	法研	2018.11	490.15-カヨ-2018
12	さいごまで「自分らしく」あるために	山崎 章郎／著	春秋社	2018.6	490.15-サイ-2018
13	医療倫理超入門	マイケル・ダン／[著]	岩波書店	2020.10	490.15-ダマ-2020
14	終の選択	田中 美穂／著	勁草書房	2017.12	490.15-タミ-2017
15	119番と平穏死	長尾 和宏／著	大和書房	2020.4	490.15-ナカ-2020
16	だから、もう眠らせてほしい	西 智弘／著	晶文社	2020.7	490.15-ニト-2020
17	欧米に寝たきり老人はいない 増補版	宮本 顕二／著	中央公論新社	2021.2	490.15-ミケ-2021
18	安楽死を遂げた日本人	宮下 洋一／著	小学館	2019.6	490.15-ミヨ-2019
19	みんなのスピリチュアリティ	アンドリュー・グッドヘッド／編	北大路書房	2020.3	490.15-ミン-2020
20	脳死・臓器移植と向き合うために	保岡 啓子／著	晃洋書房	2019.2	490.15-ヤケ-2019
21	臨床宗教師	藤山 みどり／著	高文研	2020.1	490.16-フミ-2020
22	在宅無限大	村上 靖彦／著	医学書院	2018.12	492.99-ムヤ-2018
23	老年という海をゆく	大井 玄／[著]	みすず書房	2018.4	493.18-オゲ-2018
24	ホスピス医が自宅で夫を看取るとき	玉地 任子／著	ミネルヴァ書房	2017.9	494.5-タヒ-2017
25	なんとめでたいご臨終	小笠原 文雄／著	小学館	2017.6	498-オブ-2017
26	家族を家で看取る本	村松 静子／監修	主婦の友社	2018.2	498-カゾ-2018
27	死を生きた人びと	小堀 鷗一郎／[著]	みすず書房	2018.5	498-コオ-2018
28	おひとりさまでも最期まで在宅	中澤 まゆみ／著	築地書館	2020.6	498-ナマ-2020
29	たんぼぼ先生のおうち看取り	永井 康徳／著	幻冬舎メディアコンサルティング	2020.10	L498-ナヤ-2020
30	精神科病院で人生を終えるということ	東 徹／著	日経BP社	2017.3	498.16-ヒト-2017